

苦しみたい、悲しみたい、死にたい、人を傷つけたい、殺したい、そう思っただけで生まれてくる子どもはいません。楽しみたい、笑いたい、安心したい、人と話したい、遊びたい、仲良くなりたい、人を愛したい、愛されたい、そう思っただけで生まれてくる子どもはいません。この言葉は、夜回り先生・水谷修先生の「子どもたちへ」という本の中の言葉です。青少年の悲しい事件が後を絶ちません。他人の命を奪うことは、自分の命をなくすことと一緒だと言われています。今、日本中の多くの子どもたちが、不登校あるいは引きこもりという行為で、自分たちのしんどさを大人に訴えています。この子どもたちの一生懸命の訴えを、私たちは真剣に受け止めなくてはいけないと思います。

先日、西条市青少年健全育成市民大会が開かれ、多くの出席者がありました。その中で、中高生の意見発表がありました。その発表の中には、「つらいとき、苦しいとき、お母さんがぎゅっと抱きしめてくれたことを忘れません」と。ぎゅっと抱きしめてくれたとき、心も一緒に抱きしめてくれたのだらうと思います。子どもたちは、一生懸命大人と一緒に生きていたいとシグナルを送っているのに、大人の心には子どもたちの思いが届いていないのかもしれない。生まれる前の記憶を持っている子どもが生まれにしていることを、産婦人科の先生が研究しています。その先生によると、子どもは空で神様と相談して、親を選んで生まれてくると話しているそうです。こんなに多くの人間の中から自分たちを選んでくれたと思うと、わが子の愛おしさが、また大きくなります。水谷先生は、生徒を叱ったり殴ったりしたことがないそうです。なぜなら、子どもたちはみんな「花の種」だと考えているからです。親や学校の先生、地域の大人たちなどが、慈しみ、愛し、丁寧に育てれば、子どもは必ず美しい花を咲かせると信じているからだと思います。

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽棗 優樹(野々市)▽木場初美(三津屋)▽竹形静雄(広岡)▽藤原正志(高田)▽国際ソロプチミスト西条▽玉津小学校▽茶道裏千家淡交会西条支部いしづち青年部▽丹原歌謡クラブ▽小松局切手類販売協会組員一同

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子(下島山甲)▽散髪 伊藤泰博(明神木)▽新聞 芥川秀人(神拝甲)▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子(大町)、長瀬 皋(中野甲)▽歌・踊り等 生きがい研究会▽歌・うちわ作り 西条高校JRC

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部▽ポーチュラカ(プランター植え5鉢) 石根小学校児童会

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽歌・踊り ふじ美ボランティア和▽車椅子掃除等 丹原東中学校▽余暇活動 小松中学校▽ポーチュラカ(プランター植え5鉢) 石根小学校児童会

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

人権擁護委員や法務局職員が、いじめ・体罰・児童虐待など子どもの人権問題に関する相談にのってくれます。

※予約不要・無料・秘密厳守。

◆受付期間 9月8日(月)～14日(日)
月～金曜日：8時30分～19時
土・日曜日：10時～17時

◆電話番号 0120-007-110
(通話料無料。携帯電話からの相談も可能)

◆問い合わせ 松山地方法務局 TEL089-932-0888



市内全小学校に食育の副読本が贈呈されました

7月14日(月)、JA西条・JA周桑から、食育に関する小学校高学年向けの副読本(3918冊)が市内各小学校に贈呈されました。授業の中で有効に活用し、食の大切さや農業の役割について学びを深めていきたいと考えています。

